

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果について

今年4月に行われた全国学力・学習状況調査（小学6年生、中学3年生対象）の結果をお知らせします。

小学校の学力結果について

【国語】

- 成果は「話す・聞く能力」「書く能力」「関心・意欲・態度」：少人数教育のよさを生かして、一人ひとりの発言や発表の機会を増やしたり、きめ細かな指導を行ったりした結果だと考えられます。
- 課題は「読む能力」：「内容を正しく理解する力」「内容を整理したり要約したりする力」「読み取ったことをもとに、自分の考えを述べる力」などを高めるよう、指導の改善を図る必要があります。

【算数】

- 成果は「知識・理解」「技能」：少人数教育のよさを生かし、一人ひとりの習熟度等に合わせたきめ細かな指導を行ってきた成果と考えられます。
- 課題は「数学的な考え方」：「文章題の題意を読み取る力」「多くの情報の中から必要な情報を選び、立式したり、表に整理したりする力」などを高めるよう、指導の改善を図る必要があります。

中学校の学力結果について

【国語】

- 成果は「話す・聞く能力」「書く能力」「言語についての知識・理解」：国語で育んだ力を、ふるさと学習のプレゼンテーションやディベート学習などで活用を図っていることが理由として挙げられます。
- 課題は「読む能力」：「内容を正確に理解した上で、自分の考えを述べる力」などを高めるよう、指導の改善を図る必要があります。

【算数】

- 成果は「知識・理解」：習熟度別学習を積極的に取り入れるなど、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな指導の成果であると考えられます。
- 課題は「数学的な考え方」「数学的な技能」：「与えられた条件を理解し立式する力」「なぜ、その様な答えや式になるのかを簡潔に説明する力」などを高めるよう、指導方法を改善する必要があります。

学習状況調査について

- 成果は「学習習慣」：幼・小・中で家庭の協力の下、メディアコントロールに取り組んでいることとも関係があると思われます。
- 課題は「規則正しい生活習慣が身に付いていない」「失敗を恐れる」「家庭で親と話す時間が短い」など

今後の改善策について

- ① 小中学校を通して、飯館型授業スタイルの徹底を図り、思考力・表現力・活用力などの向上を図る。
- ② 家庭学習に意欲的に取り組むことができるよう、方法や内容を工夫する。
- ③ 基本的生活習慣を身に付けられるよう、大人が身をもって手本を示し、一緒に取り組む。
- ④ 家庭での子どもとの会話の時間を増やすと共に、子どもが前向きな気持ちになるような言葉掛けをより積極的に行う。

問 教育課学校教育係（本庁 ☎0244-42-1631）



▲来年4月からの学校再開に向け、学校施設の改修工事が進んでいます

一人ひとりが輝く教育を 村内学校再開に向けて

来年度、村内で再開する認定こども園、小中学校についてお知らせします。

村内学校に90人が就学意向

村教育委員会が行った就学意向調査の結果がまとまり、来年度村内学校に90人の就学が予定されています。

この調査は、来年度就学対象となる全児童・生徒420世帯742人に配布し、432人から回答が寄せられました。調査期間中には、教育委員会が中心となり、保護者説明会やPTA総会などで村外からのスクールバス運行や村教育ビジョンの説明が行われました。

飯館村 最終就学意向調査結果

飯館村教育委員会調べ 10月27日公表

認定こども園（0～5歳）	18人
小学校	28人
中学校	44人
合計	90人

コシノヒロコブランド 制服デザイン

ファッションデザイナーのコシノヒロコさんデザインの認定こども園・小中学校の新制服が決定しました。

コシノさんは、震災後に部活動で使用するユニフォームを中学校に寄贈したり、小学校でワークショップを開いたりするなど多くの支援を寄せてくださっています。今回の制服もその支援の一環として村の子どもたちのために新しくデザインしていただいたものです。



▲(手前)認定こども園、(後左から右)小、中学生用

相農飯館校 再生協議

10月22日、県教育委員会は来年度の相馬農業高校飯館校の生徒募集停止を発表しました。

相農飯館校は、現在福島市の仮設校舎で県内唯一のサテライト校として授業を続けています。今後は、県教委が高校の在り方を検討するために国・県・村による協議会を設置するほか、村が「相農飯館校の再生を考える会」を設置し、新たな学校の形について検討します。

会では、新たな学校の形について有識者の意見を踏まえながら、様々な角度から検討していきます。



▲検討がはじまった相農飯館校